



崎山 華英 議員



旭市の新しい子育て支援事業 ファミリーサポート・センター事業について

問 本市ではファミリーサポート・センター事業を令和6年度より新たに開始と計画に定め、予算化もされているが、現在どのような進捗状況か。

答 市役所2階にある旭市子育て支援センターハニカム内に設置し、アドバイザーとして保育士2名を配置する。11月1日に事業開始する予定。

放課後児童クラブの入所要件について

問 保護者が共働き等で祖父母宅がある学区に区域外就学する場合、現状のルールでは放課後児童クラブには入所が認められない。祖父母もある程度は就労等しているケースもある中、一定条件で入所が認められるように要件を緩和するべきと考えるがどうか。(補足：近隣の銚子市・匝瑳市では区域外就学の理由によってクラブ入所不可となる要件は無い)

答 区域外就学の申請で祖父母宅に帰宅するためとして許可されているのであれば、祖父母が家において児童を保護できると解釈される。その場合、児童クラブの利用条件の放課後帰宅しても保護者等が家庭にいないことにならないため、現状では難しい。

小中学校体育館にエアコン設置の考えは

問 近年、異常な暑さにより夏季の屋外活動が制限されることが増えている。体育の授業での利用や夏季休暇中の児童クラブ入所児童の遊び場として今後は小・中学校の体育館にエアコンの設置が必須と考えるがどうか。

答 体育館にエアコンを設置するには、エアコン工事のほかに断熱工事、受電設備の改修など多額の導入コストが必要。令和9年4月開校予定の千潟地域の統合小、現古城小学校では、児童の熱中症対策を踏まえて体育館のエアコン設置を協議していく。他の小・中学校については、先進事例を研究するとともに、学校再編の進捗状況も見極めながら検討する。その他の質問事項
○HPVワクチンの周知について
○学校給食費減免・無償化の考え
方について

洋上風力発電について

問 旭市沖での洋上風力発電事業への、取り組みの進捗状況はどうなっているか。

答 発電事業を計画している民間事業者が、令和5年8月から漁業者に対し洋上風力発電の概要について説明を行ったと聞いている。まずは海匠漁協全体の合意形成が必要なので、それらの準備が整った際には、国に対して情報提供を行っていききたい。

問 市の将来を見据え、人口減少による財源の縮小、または温暖化現象による海水温の上昇による漁業への不安等を考えると、洋上風力発電事業は地域産業、雇用の振興に多大なる期待が持てる事業ではないか。見解を伺う。

答 洋上風力発電事業は脱炭素社会に向けての取り組みであり、非常に重要な国の政策である。事業の導入により、将来的な産業振興や地域振興につながることも期待できる。しかし、事業の

実施には漁業、地域との協調が不可欠であることから、まずは漁業関係者の意向が最優先と考えている。

学校再編計画について

問 千潟地域の廃校予定となる中和小と萬歳小の跡地利用について、どういう活用を考えているのか伺う。

答 旭市学校再編基本方針において、これまで学校が担ってきた地域の役割も踏まえ、今後地域との拠点として活用できるように検討していく。再編準備委員会で地域の意見を参考にしつつ、今後検討を進めていく。

問 これから幾つもの学校の統合が考えられれば、早くから県に要望を出し、協議を行うことはできないのか。

答 特別支援学校の校舎については、千葉県教育庁より使用しなくなる校舎の調査が毎年来ており、情報は提供している。今後、県から活用について連絡があれば、県と協議を進めていく。その他の質問事項

○保育所再編計画について
○指定管理者制度について



井田 孝 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。